

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 日華化学株式会社
 コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員
 情報戦略室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 江守 康昌
 (氏名) 上野 嘉蔵

上場取引所 名

TEL 0776-24-0213(代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	24,280	—	919	—	747	—	175	—
20年3月期第3四半期	24,692	1.0	1,358	3.7	1,307	6.5	736	21.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	9.95	—
20年3月期第3四半期	41.83	—

※当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務諸表を作成しているため、当期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	34,506	—	12,579	—	30.6	—	600.32	—
20年3月期	34,899	—	13,366	—	32.7	—	647.71	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,570百万円 20年3月期 11,405百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,600	△12.4	630	△54.0	400	△67.2	△180	—	△10.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	17,710,000株	20年3月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	102,252株	20年3月期	101,313株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	17,608,389株	20年3月期第3四半期	17,612,087株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）の連結業績は、世界規模で発生した金融危機に端を発する同時不況のあおりを受け、工業用薬剤関連部門が低迷し、売上高は242億8千万円となりました。利益面におきましては、コストダウンや収益性改善を全社的に進めましたが、急激な受注減により、営業利益は9億1千9百万円、経常利益は7億4千7百万円、四半期純利益は1億7千5百万円となりました。

工業用薬剤関連事業におきましては、売上高199億8千3百万円となりました。

繊維加工薬剤事業では、非衣料分野で付加価値の高い製品の開発販売をすすめました。しかしながら、自動車関連業界の大幅な生産調整や、アメリカ、日本、アジア、さらに中国を含めた同時不況に伴う産業界全体の加工量激減により、売上高は減少しました。

海外では、インドネシアやタイなど、一部で好調を持続しましたが、中国が減速するなど、厳しい状況になっています。

化粧品関連事業におきましては、売上高38億9千3百万円となりました。

美容市場は引き続き低迷し、厳しい競争環境にあります。デミブランドは業務用総合美容メーカーを目指し、ヘアケア、スタイリング分野に力を注ぎました。また、大型美容室の開拓などの営業戦略も軌道に乗り、順調に売上高を伸ばしました。

その他事業におきましては、売上高4億4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、3億9千3百万円減少し、345億6百万円となりました。受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したものの、借入金の返済等で現金及び預金が減少したほか、在外連結会社の換算レートの変動による減少により、総資産は減少しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、3億9千4百万円増加し、219億2千7百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加12億6千1百万円、支払手形及び買掛金の増加6億4千8百万円、長期借入金の減少14億4千8百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、7億8千7百万円減少し、125億7千9百万円となりました。為替換算調整勘定の減少7億9千3百万円が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.7%から30.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが1億7千4百万円の使用となったことに加え、有形固定資産の取得に伴う支出4億9千6百万円や配当金の支払2億5千5百万円等により、前連結会計年度末に比べ、9億6千万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には21億7千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1億7千4百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7億2千7百万円、減価償却費7億8千2百万円を計上したことに加え、仕入債務の増加に伴う増加6億4千9百万円がありましたが、売掛債権の増加に伴う減少11億3千5百万円、たな卸資産の増加に伴う減少6億7千3百万円、法人税等の支払3億3千万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億6千3百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6百万円となりました。これは主に、借入金の増加2億5百万円及び配当金の支払2億5千5百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、世界規模の景気後退や円高の影響を受け、予想を大きく下回る結果となりました。通期業績予想につきましては、平成20年11月13日発表において当初予想を修正しておりますが、最近の景気動向、為替の状況、原油価格の推移等を鑑み、再度以下のように修正しております。

	(修正前平成21年3月期予想)	(修正後平成21年3月期予想)	変動率
売上高	32,000百万円	28,600百万円	△12.4%
営業利益	1,270百万円	630百万円	△54.0%
経常利益	1,120百万円	400百万円	△67.2%
当期純利益	420百万円	△180百万円	—

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ、6,779千円減少しております。

③第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,363,997	3,340,680
受取手形及び売掛金	8,868,750	8,175,701
製品	2,831,087	2,731,439
原材料	2,208,267	2,068,032
仕掛品	476,683	348,833
その他	972,982	1,100,364
貸倒引当金	△87,588	△94,663
流動資産合計	17,634,180	17,670,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,113,830	5,261,587
機械装置及び運搬具(純額)	1,532,467	1,717,413
土地	6,524,147	6,720,193
その他(純額)	1,114,387	839,756
有形固定資産合計	14,284,832	14,538,950
無形固定資産	311,744	346,849
投資その他の資産	2,275,757	2,343,658
固定資産合計	16,872,334	17,229,459
資産合計	34,506,515	34,899,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,657,587	4,009,001
短期借入金	8,630,716	7,369,588
未払法人税等	110,775	225,082
賞与引当金	176,960	373,640
その他	1,842,678	1,627,152
流動負債合計	15,418,717	13,604,465
固定負債		
長期借入金	3,390,827	4,839,475
退職給付引当金	2,283,647	2,278,236
役員退職慰労引当金	206,700	195,270
負ののれん	29,754	37,070
その他	597,755	578,815
固定負債合計	6,508,684	7,928,867
負債合計	21,927,402	21,533,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,167	3,040,023
利益剰余金	5,965,824	5,949,107
自己株式	△42,370	△41,838
株主資本合計	11,862,167	11,845,836
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,953	87,829
為替換算調整勘定	△1,321,763	△528,284
評価・換算差額等合計	△1,291,809	△440,455
少数株主持分	2,008,756	1,961,133
純資産合計	12,579,113	13,366,515
負債純資産合計	34,506,515	34,899,848

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	24,280,509
売上原価	16,888,402
売上総利益	7,392,106
販売費及び一般管理費	6,473,104
営業利益	919,002
営業外収益	
受取利息	20,272
受取配当金	19,741
負ののれん償却額	6,854
持分法による投資利益	47,131
その他	107,362
営業外収益合計	201,362
営業外費用	
支払利息	175,773
その他	196,781
営業外費用合計	372,555
経常利益	747,809
特別利益	
固定資産売却益	3,233
持分変動利益	587
特別利益合計	3,821
特別損失	
固定資産除却損	4,806
固定資産売却損	74
投資有価証券評価損	611
出資金評価損	12,263
関係会社株式売却損	6,701
特別損失合計	24,458
税金等調整前四半期純利益	727,173
法人税等	360,394
少数株主利益	191,584
四半期純利益	175,194

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	727,173
減価償却費	782,617
負ののれん償却額	△6,854
投資有価証券評価損益 (△は益)	611
出資金評価損	12,263
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,384
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,430
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△196,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,193
受取利息及び受取配当金	△40,014
支払利息	175,773
為替差損益 (△は益)	△10,813
持分変動損益 (△は益)	△587
持分法による投資損益 (△は益)	△47,131
固定資産処分損益 (△は益)	1,648
関係会社株式売却損益 (△は益)	6,701
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,135,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△673,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	649,617
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,220
その他	△55,567
小計	242,799
利息及び配当金の受取額	91,326
利息の支払額	△178,096
法人税等の支払額	△330,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	△174,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△166,293
定期預金の払戻による収入	183,827
有形固定資産の取得による支出	△496,985
有形固定資産の売却による収入	3,637
投資有価証券の取得による支出	△10,853
関係会社株式の売却による収入	51,226
貸付けによる支出	△4,230
その他	△23,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	43,961,548
短期借入金の返済による支出	△43,076,248
長期借入れによる収入	42,300
長期借入金の返済による支出	△722,568
少数株主からの払込みによる収入	22,685
配当金の支払額	△158,641
少数株主への配当金の支払額	△97,264
自己株式の売却による収入	23,259
自己株式の取得による支出	△1,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△316,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△960,482
現金及び現金同等物の期首残高	3,132,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,171,654

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	19,983,085	3,893,255	404,168	24,280,509	—	24,280,509
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,637	—	16,365	34,002	(34,002)	—
計	20,000,722	3,893,255	420,533	24,314,512	(34,002)	24,280,509
営業利益又は営業損失 (△)	1,449,874	554,118	△60,053	1,943,940	(1,024,937)	919,002

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,319,189	7,814,927	1,146,392	24,280,509	—	24,280,509
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,827,729	300,712	101,166	3,229,607	(3,229,607)	—
計	18,146,918	8,115,639	1,247,558	27,510,116	(3,229,607)	24,280,509
営業利益	1,151,195	840,820	23,498	2,015,513	(1,096,510)	919,002

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	東南アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	8,241,542	1,159,582	731,453	10,132,578
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	24,280,509
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	33.9	4.8	3.0	41.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額 (千円)
I 売上高	24,692,027
II 売上原価	16,678,398
売上総利益	8,013,628
III 販売費及び一般管理費	6,654,955
営業利益	1,358,673
IV 営業外収益	217,255
V 営業外費用	268,890
経常利益	1,307,038
VI 特別利益	166,268
VII 特別損失	144,741
税金等調整前四半期純利益	1,328,565
法人税等	314,545
少数株主利益	277,394
四半期純利益	736,625

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,328,565
減価償却費	782,013
のれん償却額	4,225
退職給付引当金の増減額	594
役員退職慰労引当金の増減額	9,880
賞与引当金の増減額	△181,627
貸倒引当金の増減額	8,112
受取利息及び受取配当金	△58,539
支払利息	187,492
為替差損益	△8,509
持分法による投資損益	△27,940
固定資産処分損益	△27,887
投資有価証券売却損益	6,360
売上債権の増減額	△740,986
たな卸資産の増減額	△131,602
仕入債務の増減額	324,585
未払消費税等の増減額	21,257
役員賞与の支払額	△16,879
少数株主に負担させた役員賞与の支払額	△10,791
その他	37,207
小計	1,505,531
利息及び配当金の受取額	71,080
利息の支払額	△185,841
法人税等の支払額	△382,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,008,232
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△98,804
定期預金の払戻による収入	114,880
有価証券の売却による収入	8
有形固定資産の取得による支出	△1,801,699
有形固定資産の売却による収入	258,911
投資有価証券の取得による支出	△10,580
投資有価証券の売却による収入	3,640
貸付金の回収による収入	315
その他	△99,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,632,511

	前第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	22,488,658
短期借入金の返済による支出	△21,379,128
長期借入れによる収入	402,493
長期借入金の返済による支出	△892,646
配当金の支払額	△176,224
少数株主への配当金の支払額	△110,660
自己株式の売却による収入	13
自己株式の取得による支出	△2,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	329,510
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,700
V 現金及び現金同等物の増減額	△315,468
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,032,853
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,717,384

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	20,676,501	3,555,430	460,096	24,692,027	—	24,692,027
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,284	—	24,367	42,652	(42,652)	—
計	20,694,786	3,555,430	484,464	24,734,680	(42,652)	24,692,027
営業利益又は営業損失(△)	1,827,929	579,621	△31,233	2,376,317	(1,017,643)	1,358,673

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	15,268,667	8,232,333	1,191,026	24,692,027	—	24,692,027
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,562,346	289,580	130,264	2,982,190	(2,982,190)	—
計	17,831,013	8,521,913	1,321,291	27,674,218	(2,982,190)	24,692,027
営業利益	1,419,385	981,477	15,004	2,415,867	(1,057,194)	1,358,673

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	東南アジア	北米	中南米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	8,827,027	1,193,078	4,519	749,349	10,773,975
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	24,692,027
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	35.7	4.8	0.0	3.1	43.6